

女性プラザ祭2015 トークセッション 北海道女性の戦後70年 伝える・生きる

-戦後を生きた女性たちから私たちが今受け継ぐもの-

◆ 日時

2015年11月13日(金)

18:00~20:00

◆ 場所

かでの2・7

6階 610・620会議室

2015年、日本はアジア・太平洋戦争の終結から70年を迎えました。敗戦後、国民は民主的、平和的國家の建設をめざし、焦土からの復興後、奇跡的な高度成長も遂げましたが、現在、多くの課題を抱えています。

この70年で北海道の女性の暮らしや権利がどのように変わり、そこにはどのような市民の働きがあったのかを三浦さんのお話から考え、そして今後の北海道社会を生きる私たちが受け継ぐものは何か考えたいと思います。

<登壇者>

* 三浦章子氏

元 北海道平和婦人会会長、札幌市婦人団体連絡協議会幹事。

1945年東京大空襲で被災。49年来札。その後夫と共に会社を経営しながら、札幌で保育所設立運動や消費者運動、平和運動等に携わる。

<聞き手>

* 林恒子氏

元高校教員、元『新札幌市史』編集協力員(『通史五上・下』2002、2005)。

著書は共著『北の女性史』(北海道新聞社1986)

みなさまのご参加を心よりお待ち
申し上げます。



主催:北海道ジェンダー研究会/札幌女性史研究会
お問い合わせ:matsuispr@yahoo.co.jp(松井)